



中国四川省大地震

都江堰市震災復興グランド・デザイン

第二回 報告会

2008年7月26日(土) 13:30～ 東京大学工学部14号館 141教室

中国四川省では、震災後の復興に向けて、仮設住宅の建設、被災者支援、都市・農村の再生が、急速に必要とされています。激甚な被害を被った都市の一つである都江堰市が、このほど復興グランド・デザインの公募を国際社会に呼びかけました。都江堰市は、2000年前の水利工が残る世界遺産都市ですが、旧市街地は、ほとんど壊滅いたしました。

世界から47組の応募があり、10組がノミネートされ、6月7-11日に現地調査、7月12、13日に現地最終プレゼンというスケジュールでグランドデザインの提案しました。日本からは、東京大学都市持続再生センター・慶應義塾大学の協同チームと現地の西南交通大学が参加しています。この報告会は現在の状況をとお伝えするとともに、日本の経験を生かして、短期・長期の復興に国際的専門家集団として、支援を行うための第一歩を踏み出すものです。

